



2023. October



今号の内容	国際交流してみよう！	1
	学生会・院生会だより	4
	もうすぐ大学祭	5
	健康手帳	6

学園だより

G A K U E N D A Y O R I



表紙題字：初代学長 前田嘉明
表紙写真：「ことばdeともだち」プログラム



国際交流

してみよう!



本学には、様々な国からの多くの留学生がいます!

留学生と交流する場や国際交流ボランティアなど、いろいろな国のいろいろな人と交流できます。

また、グローバル教員養成プログラムへの参加や大学間交流協定締結校への留学など、いろいろな海外派遣プログラムがあります。



国内活動

「ことば de ともだち」プログラム

日本人学生と外国人留学生同士が楽しく交流し合い、国際交流をより身近に感じることができるよう、実施しています。

日時 第2・第4水曜日 12:10~13:00(夏期・冬期・学年末休業は除く。その他都合で変更もあり)

場所 多目的スペース(総合学生支援棟1階 学生課前ロビー)およびZOOMミーティング

対象 国際交流に関心のある学生及び教職員(事前申し込みは不要)



当日は、お菓子やドリンクを用意しているよ。お弁当の持参もOK!

日本語を学ぶ留学生と交流できるので、外国語に自信がなくても大丈夫!



外国語が話せる貴重な機会! 交流の輪を広げて、ともだちになろう!

グローバルチューター(国際交流ボランティア)

大学が主催・依頼する行事への参加や、留学生等の生活サポートをしてもらいます。

これらの機会を通じて、留学生とより深い交流ができます。

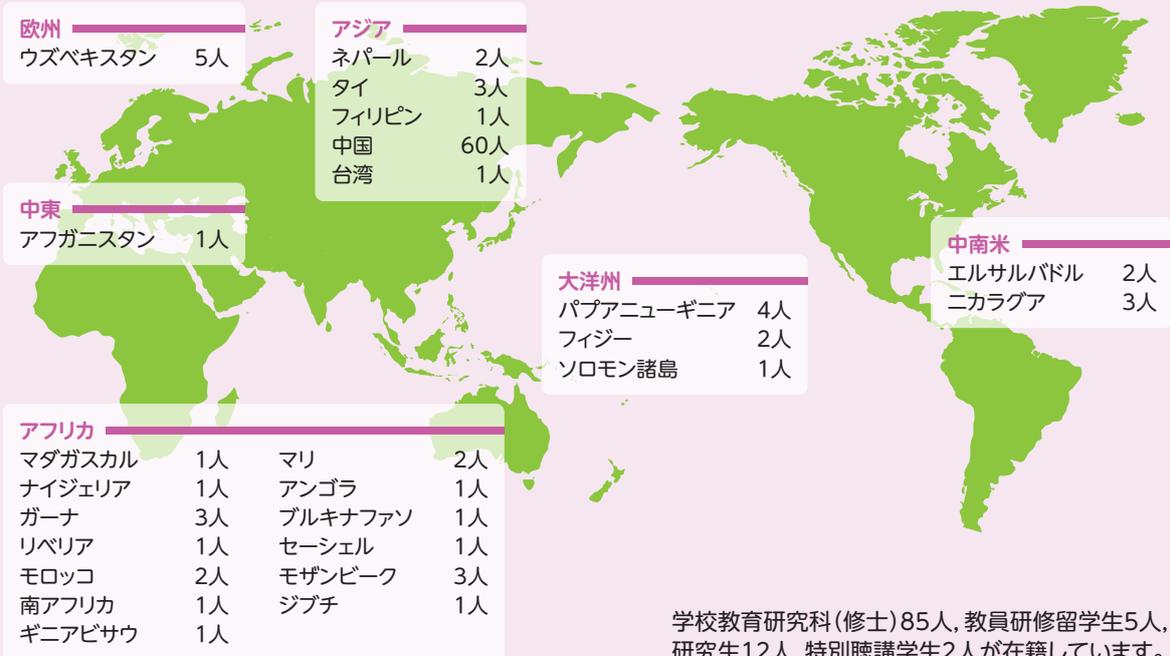
ボランティア登録等の詳細は、学生課国際交流係へ。



こんなに多くの国から留学生が来ています。

なんと25ヶ国!!

(2023年10月1日現在)



学校教育研究科(修士)85人, 教員研修留学生5人, 研究生12人, 特別聴講学生2人が在籍しています。

海外活動

大学間交流協定締結校 (締結年月日順・2023年4月1日現在)

国(地域)名	大学名
大韓民国	京仁教育大学校
中華人民共和国	南開大学
大韓民国	釜山大学校模範大学教育大学院
中華人民共和国	青島大学
南アフリカ共和国	プレトリア大学
タイ王国	シーナカリンウィロート大学
中華人民共和国	北京師範大学
タイ王国	コンケン大学
アメリカ合衆国	ウェスタンカロライナ大学
台湾	台北市立大学(臺北市立大學)
大韓民国	光州教育大学校
モザンビーク共和国	モザンビーク教育大学
ベトナム社会主義共和国	カントー大学

協定締結校へは、短期交換留学(おおむね6ヶ月以上1年以内)ができます。

また、協定締結校から本学へ留学生が2人(2023.10.1現在)来ています。



グローバル教員養成プログラム

異文化理解、語学力及びコミュニケーション能力の向上のみならず、チャレンジ力や国際的な知見やセンスを身につけ、教育の向上に貢献できる教員となることをねらいとして、このプログラムは実施されています。

さまざまな内容で、18プログラム(14カ国)があります(2023年10月1日現在)。

グローバル教員養成プログラム参加体験記



◆ 学校教育学部 小学校教育専修 英語科教育コース 4年 眞鍋志野

私は今年度、グローバル教員養成プログラムの一環としてインドネシアとルワンダを訪問しました。現地では、毎日が新しい発見や驚きの連続でした。

インドネシアは国民の大多数がイスラム教徒であるため、一日5回お祈りの合図であるアザーンが大音量で町中に響いていました。私たちは小中学校で、文化紹介として折り紙やラジオ体操、阿波踊り等を行いました。福笑いをした際には、輪ゴムを耳にかけて使う目隠しを用意しましたが、イスラム教徒である女子児童がヒジャブによりつけられないというハプニングも起きました。

ルワンダは、1994年に起きたツツ族によるツチ族の大虐殺、ジェノサイドから短期間で復興を遂げ、「アフリカの奇跡」と呼ばれています。その大虐殺を生き延びたサバイバーと平和について話し合い、考えを深め

ました。私たちはヒロシマとナガサキへの原爆投下についての話やその後の平和教育について紹介し、共に平和を願って折り鶴を折りました。ルワンダでは停電がよく起きたり、安全な水がなかなか手に入らなかったりという経験もしました。水道が無い家庭も多く、川まで水を汲みに行く人が沢山いて驚きました。

これらのグローバル教員養成プログラムを通して、多様な文化や価値観についての理解を深め、お互いを尊重する大切さを強く感じました。日本で当たり前だと思っていたことが決して当たり前ではないと気付かされ、全てのものに感謝の気持ちを持つ日々を過ごす大切さを実感しました。

最後になりましたが、プログラムをサポートしてくださったINCET, ISOの皆様、日下先生をはじめとする多くの関係者の方々に心より御礼申し上げます。



Link!

国際交流・日本型
教育の海外展開

プログラムの一覧や、協定
締結校への短期交換留学等々、
詳細は、こちらのLINKで!



学生会・院生会だより

学生が楽しめるイベントづくり

◆ 学生会会長 田井 芳 乃

皆さん、こんにちは！学生会会長の田井芳乃です。

学生会は、学部生の有志の集まりで、学生がより良い学校生活を送ることができるように日々活動を行っております。今年度は1年生が1人、2年生が8人、3年生が2人の合計11人という少ない人数で企画や運営をしています。

昨年度までは、新型コロナウイルスの影響により、さまざまな規制がある中でイベントを開催したり、惜しくも中止にしたりなど、例年通りに活動することができませんでした。しかし、そのような中でもオープンキャンパスや卒業パーティーを開催したり、院生会の皆さまと協同でフードバンクを行ったりなどいろいろなことに挑戦してきました。今年度は新型コロナウイルスによる規制がなくなり、新たな挑戦として1・2・3年生が各学年で運動会を行うこと

ができました。多くの学生が参加し、運営にもかかわってくださり、とても楽しい運動会となりました。

これからも学生が楽しく学校生活を送ることができるように、皆さまのご意見やご要望を基に、新しいことに挑戦しながら活動していきたいと思っておりますので、これからも引き続きよろしくお願い致します！



これからの院生会

◆ 院生会会長 喜多 海斗

今年度院生会会長を務めさせていただいております、大学院家庭科教育コースの喜多海斗と申します。

前期におきましては、院生会理事の方々をはじめとした多くの方々のご協力をいただき、6月30日の総会を含め無事終えることができました。

数年に渡り制限された新型コロナウイルスの感染症対策は個人の判断に委ねられ、鳴門教育大学の大学祭「鳴潮祭」も開催されるなど、以前のような学生生活を取り戻しつつある状況を嬉しく思うと共に、院生会活動の幅が更に広

がっていくのではないかと楽しみにしております。

令和5年度はソフトボール大会やソフトバレーボール大会などの体を動かす活動、学生会と合同企画であるフードバンク、国際交流親睦パーティーや修了記念パーティーなどの楽しんでいただける活動も計画中です。ぜひご参加ください。

最後になりますが、院生会は院生の皆様をはじめ、沢山の皆様のご協力によって活動することができています。この場をお借りして感謝申し上げます。引き続き宜しくお願いいたします。

もうすぐ 大学祭

みんな楽しい鳴潮祭

◆ 第40回鳴潮祭実行委員長 中学校専修保健体育科コース 横田 恵里佳

みなさんこんにちは！第40回鳴潮祭実行委員長を務めさせていただいております，横田恵里佳と申します。

さて，第40回鳴潮祭の開催まで残りわずかとなってきました。大学祭実行委員も一致団結して着々と準備を進めております。今年の大学祭のテーマは「鳴潮祭の楽しみ方って200種類あんねん」です。これは，モデルやタレントで活躍されているアンミカさんの名言「白って200色あんねん」を参考にさせていただきました。新型コロナウイルスが第5類感染症に移行され，感染拡大前の生活が少しずつ取り戻されてきたように感じます。鳴潮祭には多様な楽しみ方があることを伝えたいという思いでこのテーマにしました。今年は，楽しい企画はもちろん，中には留学生との交流もあり，模擬店もたくさん出店される予定です。ぜひ，足を運んでみてください！

大学祭を通してわたしたちに何かできることはないかと考え，実行委員会では募金箱を作り，それを赤い羽根共同募金に寄付することにいたしました。募金してくださった方には，手作りのおみくじやキーホルダーなどちょっとしたお返しをして，少しでも楽しんでいただけたらと思います。何卒，ご協力よろしく願い申し上げます。

私は，今年の大学祭を，みんなの笑顔があふ

れ，鳴門教育大学がより活気づくような，テーマ通りの学祭にしたいと考えております。3日間全力で楽しみましょう！

第40回鳴潮祭を開催するにあたり，多くの方々からあたたかいご支援・ご協力をいただきました。この場をお借りして，実行委員一同，心より感謝申し上げます。



Link!



健康手帳

ウィズコロナの時代へ

◆ 心身健康センター所長 伊藤弘道



皆さんこんにちは。2023年5月8日より新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが第2類からインフルエンザ相当の第5類へと移行し、それに伴い法律に基づく外出自粛要請などはなくなり、感染対策については個人の判断に委ねられることとなりました。本学においても5月8日以降は国の方針に合わせて大学への感染報告は不要となり、感染対策について大学からは特別なことは求めず、個々の判断に委ねています。これまで全世界的に新型コロナウイルスをなんとか撲滅しようとする対策がとられてきましたが、このウイルスはそれに応じてより自身の生存に適するように、弱毒化・感染効率を高めるなどの構造変化（進化）を遂げてきていることや、無症候感染者もいることから、ウイルスの撲滅は不可能だと認識されるようになり、いわゆるウィズコロナ（日常に当たり前にあるウイルスとして共存していかざるを得ない）という考え方になっています。普通の風邪の原因として、従来型のコロナウイルスには大きく4つの型がありましたが、そこに今回の新型コロナウイルスが5つ目として入ってくるような形かと思います。第5類移行後も新型コロナウイルス感染者数はこれまで通りの増減を繰り返しており、お年寄りや基礎疾患をもっている方などの重症化のハイリスク者への

感染予防に関する一般的な配慮は引き続き必要かと思います。

新型コロナウイルスに対する感染予防策（手洗い、マスク着用、ソーシャルディスタンス、移動規制、各種イベントの自粛等）を行っている期間は、他の感染経路が同様である種々のウイルス感染症（主として飛沫感染する風邪のウイルス）の発症頻度を大きく抑え、飛沫感染する風邪関連の感染予防に極めて有効であることが確認できました。一方で、感染経路が別であるウイルス感染症の発症頻度にはあまり影響を与えなかったようでした。本原稿を執筆している2023年9月時点では季節はずれのインフルエンザの流行などを認め、社会全体としての飛沫感染予防策を緩めるとやはり主として飛沫感染するウイルスは増殖するようですが、通常の世界生活とのバランスの観点からはやむを得ないことなのかもしれません。引き続き一般的な常識範囲内の感染予防についてご留意のほどよろしく申し上げます。

【学園だより第86号】

編集：鳴門教育大学学生支援委員会

発行：鳴門教育大学学生課

鳴門市鳴門町高島字中島748番地

☎ 088(687)6118 <http://www.naruto-u.ac.jp/>